《答申の概要》諮問「都市型高齢社会・人口減少社会での大阪における新たな住宅まちづくり政策のあり方について」

都市型高齢社会・人口減少社会に		施策構築・推進の展開方針			
おける住宅とまちのあり方		公正な市場機能の重視	ストックの重視	地域活動の重視	政策連携の重視
<目指すべき基本目標>		五正ないが続けるシェル	ヘープノの重批	が以后到の主化	以来注述の重批
I. 安心感が得られる住宅とまちの実現					
II. 選択が可能で活力ある住宅とまちの実現 <住宅とまちのあり方>		住宅とまちのあり方の実現に向けた施策の方向性		重点的に取り組むべき施策	
(1)安心して暮らせる 住宅とまち		○市場機能を活用した住宅セーフティネットの構築○公的賃貸住宅の改革とストックの活用○住宅のパリアフリー化・福祉のまちづくりの推進		(1) 居住支援の枠組みづくりと住宅流通 管理に関わる行政の関与	
11-12-5	Ľ	○身近なまちの活動拠点と安心を支え合う仕組みづくり		(2) あんしん住まい確保プ (府営住宅資産の活用)	ロジェクト
(2) 安全を支える 住宅とまち)	○住宅・建築物の耐震化等 ○密集市街地の再整備のたる ○災害に強いまちづくり	めの抜本的対策		主体による活動の支援
(3) 環境負荷をかけない 住宅とまち)	○住宅・建築物の環境配慮○環境負荷の少ないまちの形成		(4) 大阪スダルの「高齢者	. —
	۲.			(5) 住宅ストックの耐震性	確保 📙
(4) 個性が活かされる 住宅とまち		○住宅を選択できる環境づくり○地域の特性を活かした魅力を) あるまちの形成	(6) 環境に配慮した建築物	の普及
(5) 多様な人々が住み	V	○多彩な機能 (職、学、遊、6	主)を持つまちの形成	(7) ストック再生産業の健	全育成
(5) 多様な人々が住み 交流することができる 住宅とまち	7	○歩いて楽しめるまちづくり		(8) 府民に分かりやすい住	宅相談の仕組みづくり

大阪府住宅まちづくり政策立案のための基礎調査

大阪府住宅まちづくりマスタープランの見直しに向けて政策の基本的方向を設定するための基礎調査である。住宅セーフティネットの手段としての住宅バウチャー制度のシミュレーション、民間住宅市場の安心確保のための既存住宅の居住水準の分析、リフォーム時の消費者ニーズに関するWEB調査、府内の住替え状況の分析等を行った。

発注者	大阪府
工期	2010年